

日本史 A

教科	地理歴史	単位数	2	学科・学年	工業科3年生
使用教科書	「現代の日本史A」(山川出版社)		副教材等	「新編日本史図表」(第一学習社)	

◇ 学習の到達目標 ◇

日本の歴史の展開を近代社会が成立し発展する過程に重点を置いて考察します。そして、諸外国との関係、経済・文化の接触・交流や地理的条件などと関連づけ、世界の中の日本という視点から理解します。

◇ 科目の特色 ◇

基礎的な歴史的事項の理解のみならず、その歴史的事項を同時代の国際社会の動向などと関連させながら、グローバルな視点からその原因や経過・影響を考察していくことが学習の重要な要素です。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	1. 開国と維新 2. 近代国家の形成と発展	・開国と明治維新の流れを確認し、近代日本の基礎形成のために明治政府が実施した諸政策や国際関係の構築、政治行動の内容を理解する。 【前期中間考査】
7 9	3. 産業化の推進と国民生活の変化 4. 第一次世界大戦と大正デモクラシー	・産業化の推進と列強の一員となったことによる国内状況と国際関係の変化を理解し、その功罪を考察する。 【前期期末考査】
10 12	5. 第二次世界大戦と日本 6. 占領下の日本	・世界恐慌による国際関係や国内状況の変化から第二次世界大戦へと進んでいった経緯を考察し、戦後行われた民主化改革の意味を理解する。 【後期中間考査】
1 2	7. 日本の自立と経済成長 8. 現代の世界と日本	・国際舞台へ復帰した日本が行ってきた国際政治や経済政策を理解し、多極化する国際社会で多くの課題を抱える日本がどう歩んでいくべきかを考察する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	近現代史を中心とする日本の歴史の展開に関心・課題意識を高め、意欲的に追究しようとしているか。
思考・判断・表現	日本の歴史の展開から課題を見つけ、多面的・多角的・論理的に考察しようとしているか。
資料活用の技能	提示したデータを的確に読み取り、分かりやすく表現することができるか。さまざまな資料を活用し、的確に考察できるか。
知識・理解	近現代史について、国際環境などと関連付けながら理解し、その知識を身に付けているか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ① 定期考査 ② 授業で活用するプリント、ノートなどの提出物の内容
- ③ 長期休業に提示される主題学習(課題追究学習)のレポートや課題
- ④ 学習活動の参加状況(授業中の態度・発言内容、作業への取り組みなど)

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「歴史に興味・関心が持てる」を授業の第一目標に置きます。歴史が苦手でも、気がついたら歴史が好きになっていた、そういう授業をみなさんと作っていきましょう。